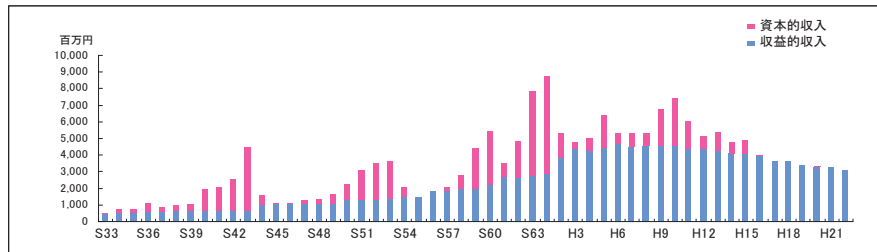


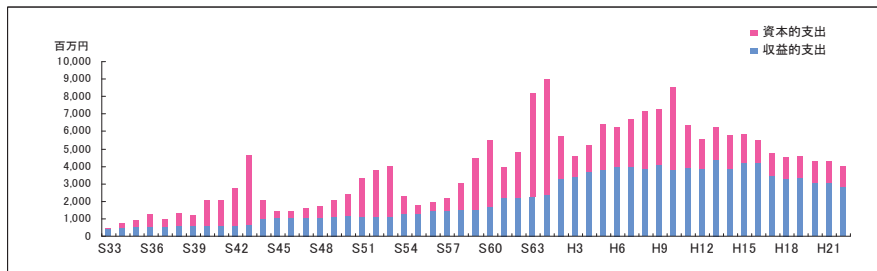
電気事業

[昭和33年(1958年)4月～現在]

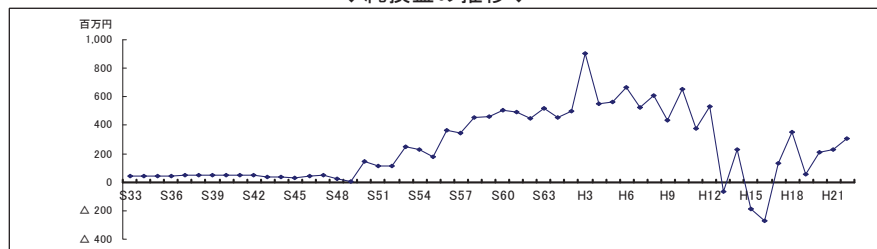
◆収入額の推移◆



◆支出額の推移◆

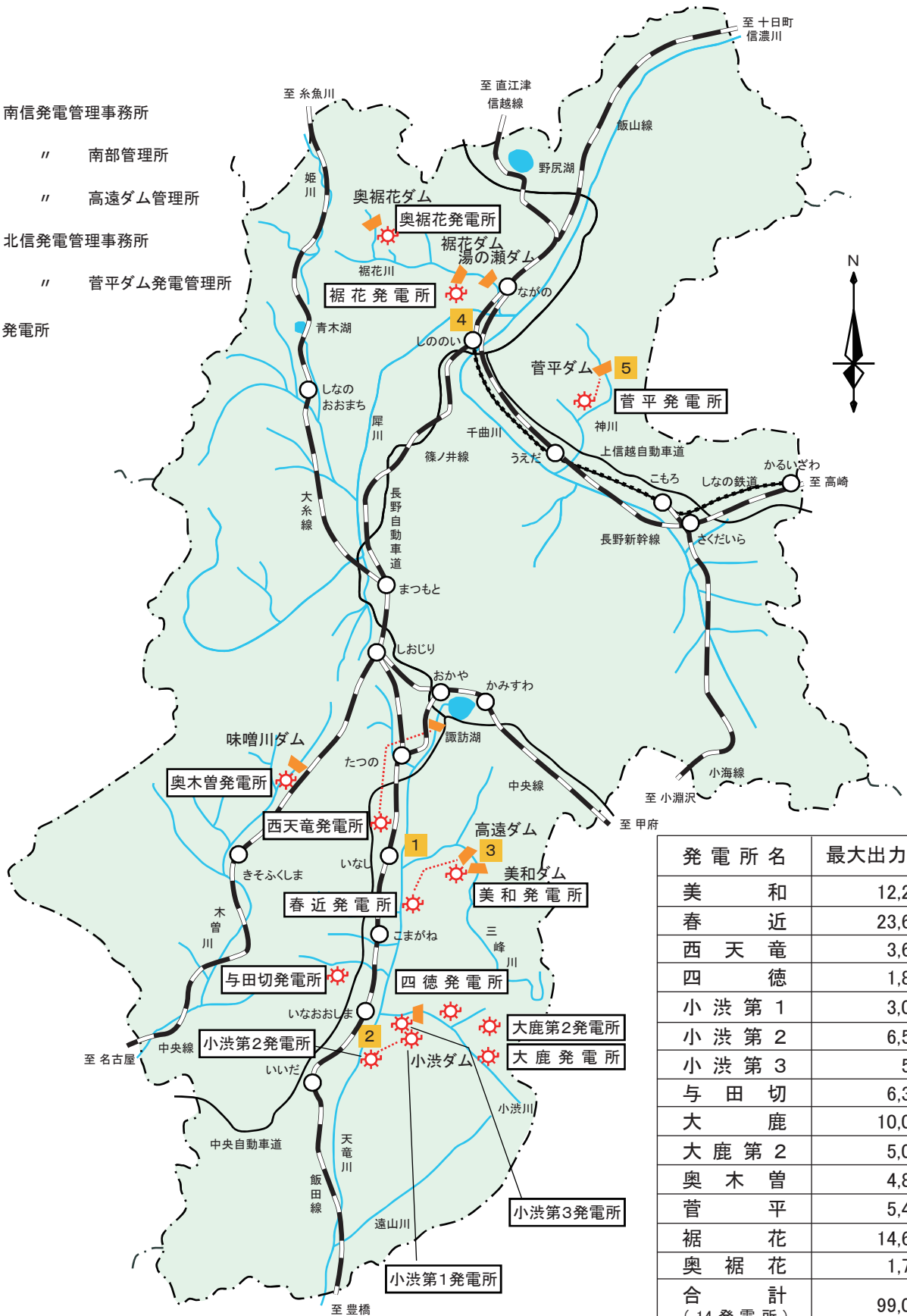


◆純損益の推移◆



電気事業施設位置図

- 1 南信発電管理事務所
- 2 " 南部管理所
- 3 " 高遠ダム管理所
- 4 北信発電管理事務所
- 5 " 菅平ダム発電管理所
- ⚙ 発電所



発電所名	最大出力(kW)
美和	12,200
春近	23,600
西天竜	3,600
四徳	1,800
小渋第1	3,000
小渋第2	6,500
小渋第3	550
与田切	6,300
大鹿	10,000
大鹿第2	5,000
奥木曾	4,800
菅平	5,400
裾花	14,600
奥裾花	1,700
合計 (14発電所)	99,050

事業のあゆみ

〔電気事業の創設〕

昭和 24 年、本県は防災・治水計画を確立するため総合開発局を設け、県下 18 地点での総合開発計画を策定した。その計画の第一号として、昭和 27 年から三峰川に治水・かんがい・発電を目的とする多目的ダム（美和ダム）を建設する三峰川総合開発事業に着手した。

その後、美和ダム本体工事は国の直轄となり、昭和 32 年 12 月に完成。翌昭和 33 年 2 月には電気事業初となる美和発電所が運転を開始した。

また、同年 4 月には現在の長野県企業局の前身となる長野県電気部が創設された。

〔河川総合開発の一翼を担って〕

昭和 30 年代から 40 年代中頃までの公営電気事業は、河川総合開発の一翼を担い、大型ダムに付随した発電所の建設・運転を通じて、「高度成長で増大するエネルギー需要への貢献」と「治水やかんがいなど住民に直接関わる問題の解決」という重要な役割を果たしていた。

本県においても三峰川、小渋川、裾花川、裾花川上流、及び神川の各総合開発事業が行われた。

〔国策としてのエネルギー開発〕

昭和 40 年代後半に入ると、公営電気事業の役割が大きく変化する。

第 1 次オイルショック、第 2 次オイルショックを経験し、エネルギー資源の約 8 割を輸入に頼る日本のエネルギー構造を見直そうとする国策により、石油代替エネルギーとしての水力発電所開発を担うことになった。

全国屈指の包蔵水力を抱えている本県では、昭和 61 年の与田切発電所を皮切りに、大鹿、奥木曾、大鹿第 2 と、次々に発電所の建設を行った。

この年代の開発は、これまでの「住民の生活を守る」ことから、「国全体のエネルギー問題解決の一翼を担う」ものへと変化していった。

〔電気事業を取り巻く環境の変化とともに〕

平成に入り、全国的な規制緩和等を背景とした電気事業法の改正等により、公営電気事業は大きな転換期を迎えることになった。

平成 7 年及び 11 年の法改正により、従来電力会社にしか認められなかった小売供給が、特定電気事業者等にも認められるようになり、さらに平成 15 年には、電力小売り自由化が 50kW 以上に拡大された。

そのような状況のもと、「みなし卸電気事業者」としての経過措置が平成 21 年度をもって終了する全国の公営電気事業者は、平成 22 年度以降の事業選択を迫られることになった。

本県では、平成 15 年に「企業局事業の民営化計画」を策定し、電気事業については民営化の方針を打ち出した。その後、平成 19 年 6 月には中部電力（株）に事業譲渡協議を申し入れ、事業譲渡に向けた協議や課題の解決に取り組んできた。

こうした中、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東電福島第一原子力発電所の事故は、これまでのエネルギー政策や取り巻く環境を大きく変化させることとなり、本県では、現在、改めて今後の公営電気事業のあり方についての再検討を進めている。

発電所・関連ダム施設一覧表

発電所名		南信発電管理事務所			
		美和発電所	春近発電所	西天竜発電所	四徳発電所
所在地		伊那市高遠町勝間1673	伊那市東春近4878の6	伊那市小沢7988	上伊那郡中川村大草7039
水系・河川名		天竜川・三峰川	天竜川・三峰川	天竜川・天竜川・小沢川	天竜川・小渋川・四徳川
流域面積 (km ²)		311.1	438.5	566.7	21.0
発電所型式		ダム式	ダム水路式	水路式	水路式
監視制御方式 (制御所名及び開始時期)		随時監視制御 (南信制御所 S52.3.25)	随時監視制御 (南信制御所 S52.3.25)	随時監視制御 (南信制御所 S38.4.25)	随時監視制御 (南信制御所 S39.7.16)
可能発電電力量 (MWh)		44,053	106,978	15,870	5,249
営業運転開始年月日		昭和33年2月7日 昭和33年5月26日	昭和33年7月14日	昭和36年12月1日	昭和39年2月7日
水利権許可年期限		平成28年3月31日	平成46年3月31日	平成44年3月31日	平成34年3月31日
河川維持 流量	放流量 (m ³ /s)	—	0.96・0.19・0.14	(3.64・2.25)(0.384・0.169)	—
	100km ² 当たり換算値 (m ³ /s)	—	—	—	—
認可出力 (kW)	最大(理論出力)	12,200 (14,764)	23,600 (28,265)	3,600 (4,385)	1,800 (2,215)
	常時()	2,800 (3,750)	5,800 (874)	0 (110)	180 (447)
最大使用流量・常時使用流量 (m ³ /s)		25.60・7.2	19.0・0.57	6.86・0.17	1.37・0.27
有効落差 (m)	最大	58.85	151.80	65.22	165.00
	常時	53.15	155.60	65.87	169.00
取水位・放水位 (m)		815.00・754.5	744.618・590.130	742.370・676.480	785.00・613.000
ダム	名称	美和ダム(国土交通省)	高遠ダム	—	—
	種類	コンクリート重力式	コンクリート重力式	—	—
	高さ・長さ (m)	69.1・367.5	30.9・76.1	—	—
	堰堤容積 (m ³)	285,000	21,970	—	—
	可動堰種類・門数	テンターゲート・3門	テンターゲート・3門	—	—
貯水池・ 調整池	湛水面積 (km ²)	1.789	0.24	—	—
	総貯水容量 (m ³)	37,478,000	2,310,000	—	—
	有効貯水容量 (m ³)	—	500,000	—	—
	利用水深 (m)	18.50	2.20	—	—
取水施設		スルースゲート表面取水	—	—	—
魚道設置の状況		なし	なし	階段式	なし
導水路	総延長 (m)	—	10,647.380	24,883.180	2,654.492
	種類	—	無圧隧道	無圧隧道・開渠・暗渠	無圧隧道
水圧鉄管	材質	SS41	SS41・SM41W	SS41	SS41
	内径 (m)	2.4~1.7	3.2~2.6	2.10~1.30	0.80~0.45
	厚さ (mm)	9.0~12.0	9.0~27.0	9.0~12.0	6.0~10.0
	長さ (m)	70.91	514.1	163.044	302.938
	条数	2	1	1	1
製造者名		佐藤工業㈱	名古屋造船㈱	名古屋造船㈱	名古屋造船㈱
放水路延長 (m)		635.417	827.210	733.004	26.530
水車	形式及び種類	立軸単輪単流渦巻フランシス	立軸単輪単流渦巻フランシス	立軸単輪単流渦巻フランシス	立軸単輪単流渦巻フランシス
	最大出力 (kW) ・台数	6,500・2台	12,700・2台	3,900・1台	1,910・1台
	最大使用水量 (m ³ /s)	12.80×2	9.50×2	6.86	1.37
	回転速度 (min ⁻¹) ・比速度 (m・kW)	400・215	600・126.9	600・202	1210・87
	入口弁型式	複葉弁	蝶型弁	蝶型弁	ロータリー弁
	调速機型式	電気式(油圧)	電気式(油圧)	電気式(油圧)	スピードレス(油圧)
製造者名		川崎重工業㈱・芦野工業(株)	三菱重工業㈱	㈱日立製作所	三菱造船㈱
発電機	形式及び種類	立軸回転界磁閉鎖風道循環型三相交流同期	立軸回転界磁閉鎖風道循環型三相交流同期	立軸回転界磁閉鎖風道循環型三相交流同期	横軸開放管通風風道循環型三相交流誘導
	定格出力 (kVA) ・台数	7,200・2台	14,000・2台	4,300・1台	2,000・1台
	定格電圧 (V)	6,600	11,000	6,600	3,300
	回転速度 (min ⁻¹)	400	600	600	1,210
	励磁装置	静止型	ブラシレス型	ブラシレス型	—
製造者名		川崎電気製造㈱	三菱電機㈱	㈱日立製作所	三菱電機㈱
主変圧器	形式及び種類	屋外用内鉄型	屋外用内鉄型	屋内外鉄型	屋内外鉄型
	定格出力 (kVA) ・台数	14,000・1台	28,000・1台	4,300・1台	2,000・1台
	電圧 (V)	6,300/22,000	10,500/22,000	6,300/22,000	3,150/22,000
	製造者名	富士電機㈱	三菱電機㈱	㈱日立製作所	三菱電機㈱
総事業費 (百万円)		1,747	3,308	545	304
帳簿原価 (百万円)	建築物	43	287	101	14
	構築物	619	2,936	308	177
	機械装置	822	1,452	351	281
	備品	1	4	1	—
	非償却資産	1	19	13	1
	無固定資産	850	3	377	1
計		2,336	4,701	1,151	474
共同事業負担金 (百万円)		811	0	0	0
負担率 (%)		23.1	—	—	—
単独・補助事業(建設補助・利子補給)等の別補助率 (%)		単独	単独	単独	単独
土木施設請負業者		㈱大林組	㈱熊谷組	飛島建設㈱	吉川建設㈱

発 電 所 名		南信発電管理事務所			
		小渋第1発電所	小渋第2発電所	小渋第3発電所	与田切発電所
所在地		下伊那郡松川町生田 3441の132	下伊那郡松川町生田541の3	下伊那郡松川町生田3481の2	上伊那郡飯島町七久保3013の114
水系・河川名		天竜川・小渋川	天竜川・小渋川	天竜川・小渋川	天竜川・与田切川
流域面積 (km ²)		288.0	288.0	288.0	18.0
発電所型式		ダム式	ダム水路式	ダム式(維持流量発電所)	水路式
監視制御方式		随時監視制御	随時監視制御	随時監視制御	随時監視制御
(制御所名及び開始時期)		(南信制御所 S47.12.20)	(南信制御所 S47.12.20)	(南信制御所 H12.4.1)	(南信制御所 S61.4.1)
可能発電電力量 (MWh)		8,044	24,842	2,950	28,851
営業運転開始年月日		昭和44年3月1日 昭和44年4月19日	昭和44年3月1日	平成12年4月1日	昭和61年4月1日 昭和61年4月11日
水利権許可年期限		平成40年3月31日	平成40年3月31日	平成40年3月31日	平成25年3月31日
河川維持 流量	放流量 (m ³ /s)	(小渋第3発電所から放流)		(維持放流利用発電所)	0.059
	100km ² 当たり換算値 (m ³ /s)	0.250	—	—	0.328
認可出力 (kW)	最大(理論出力)	3,000 (3,614)	6,500 (7,832)	550 (719)	6,300 (7,560)
	常時()	280(291)	500 (467)	350 (508)	920 (1,210)
最大使用流量・常時使用流量 (m ³ /s)		8.00・0.81	8.00・0.46	0.88・0.72	2.40・0.37
有効落差 (m)	最大	46.10	99.90	83.41	321.32
	常時	36.68	103.53	71.97	330.37
取水位・放水位 (m)		613.00・566.011	566.011・458.846	613.00・526.00	1245.37・912.80
ダム	名称	小渋ダム(国土交通省)	—	小渋ダム(国土交通省)	—
	種類	コンクリートアーチ式	—	—	—
	高さ・長さ (m)	105.00・293.30	—	—	—
	堰堤容積 (m ³)	268,000	—	—	—
可動堰種類・門数		テンターゲート・5門、ローラーゲート・2門	—	—	—
貯水池・ 調整池	湛水面積 (km ²)	1.67	—	小渋第1発電所と同じ	—
	総貯水容量 (m ³)	58,000,000	—	—	—
	有効貯水容量 (m ³)	37,100,000	—	—	—
	利用水深 (m)	24.30	—	—	—
取水施設		—	—	—	—
魚道設置の状況		なし	なし	—	なし
導水路	総延長 (m)	—	4,418.230	—	1,736.460
	種類	—	無圧隧道	—	巻立無圧隧道・暗渠
水圧鉄管	材質	SS41	SM41A・B	SM400B	SM41B
	内径 (m)	1.90~1.75	1.90~1.30	0.70~0.60	1.25~0.65
	厚さ (mm)	10.0~9.0	8.0~13.0	6.0	7.0~17.0
	長さ (m)	109.36	266.102	234.355(うち58.81は小渋第1と共用)	996.665
	条数	1	1	1	1
製造者名		三井造船㈱	佐藤工業㈱	㈱栗本鉄工所	㈱栗本鉄工所
放水路延長 (m)		15.150	95.000	21.433	17.000
水車	形式及び種類	立軸渦巻カプラン	立軸単輪単流渦巻フランス	横軸クロスフロー	横軸単輪4射ベルトン
	最大出力 (kW) ・台数	3,195・1台	6,930・1台	590・1台	6,580・1台
	最大使用水量 (m ³ /s)	8.00	8.00	0.88	2.40
	回転速度 (min ⁻¹) ・比速度 (m・kW)	600・282	600・158.2	610・282	514・21.63
	入口弁型式	蝶型弁	蝶型弁	蝶型弁	ロータリー弁
	调速機型式	電気式(油圧)	電気式(油圧)	スピーリス(電動)	電気式(油圧)
製造者名		川崎電機製造㈱	川崎電機製造㈱	㈱明電舎	㈱明電舎・芦野工業(株)
発電機	形式及び種類	立軸回転界磁換気型三相交流同期	立軸回転界磁全閉内冷型三相交流同期	横軸かご形回転子三相交流誘導	横軸回転界磁型三相交流同期
	定格出力 (kVA) ・台数	3,400・1台	7,300・1台	550・1台	7,000・1台
	定格電圧 (V)	6,600	6,600	6,600	6,600
	回転速度 (min ⁻¹)	600	600	610	514
	励磁装置	静止型	静止型	—	ブラシレス型
製造者名		川崎電機製造㈱	川崎電機製造㈱	㈱明電舎	㈱明電舎
主変圧器	形式及び種類	屋外内鉄型	屋外内鉄型	小渋第1発電所と共用	屋外内鉄型
	定格出力 (kVA) ・台数	4,000・1台(小渋第3と共用)	7,300・1台	—	7,000・1台
	電圧 (V)	6,300/23,000	6,300/22,000	—	6,300/77,000
製造者名		三菱電機㈱	富士電機製造㈱	—	㈱明電舎
総事業費 (百万円)		527	974	432	6,161
帳簿原価 (百万円)	建築物	39	53	3	232
	機械装置	117	659	175	4,277
	備品	594	573	193	1,473
	非償却資産	1	7	—	5
	無固定資産	86	13	2	13
計		837	1,307	373	6,196
共同事業負担金 (百万円)		86	13	129	—
負担率 (%)		1.2	1.2	50.0	—
単独・補助事業(建設補助・利子補給)等の別補助率 (%)		単独	単独	建設補助 20%	建設補助 10%
土木施設請負業者		前田建設㈱	鹿島建設㈱	(小渋ダム建設時の仮放水路使用)	大成・銭高・徳倉JV・関・戸田・山洲JV他

発電所名		南信発電管理事務所		
		大鹿発電所	大鹿第2発電所	奥木曾発電所
所在地		下伊那郡大鹿村大字大河原2350の70	下伊那郡大鹿村大字河塩647の1	木曾郡木祖村大字小木曾265の17
水系・河川名		天竜川・小渋川、小河内沢川	天竜川・塩川、入山沢川、舟形沢川	木曾川・木曾川
流域面積 (km ²)		54.2	23.4	55.0
発電所型式		水路式	水路式	ダム式
監視制御方式 (制御所名及び開始時期)		随時監視制御 (南信制御所 H2.5.1)	随時監視制御 (南信制御所 H11.4.1)	随時監視制御 (北制 H6.6.1 南制 H17.4.1)
可能発電電力量 (MWh)		46,517	22,702	18,903
営業運転開始年月日		平成2年5月1日	平成11年4月1日	平成6年6月1日 平成7年6月27日
水利権許可年期限		平成29年3月31日	平成37年3月31日	平成31年3月31日
河川維持	放流量 (m ³ /s)	0.11-0.06	0.115-0.024-0.019	—
流量	100km ² 当たり換算値 (m ³ /s)	0.307-0.326	0.635-0.649-1.188	—
認可出力 (kW)	最大(理論出力)	10,000 (11,748)	5,000 (5,935)	4,800 (5,763)
	常時()	1,200 (1,589)	0 (390)	290 (769)
最大使用流量・常時使用流量 (m ³ /s)		4.50-0.60	1.70-0.11	4.70-0.80
有効落差 (m)	最大	266.40	356.22	125.12
	常時	270.20	361.52	98.12
取水位・放水位 (m)		1,038.00-761.50	1,124.00-758.563	1,122.50-989.253
ダム	名称	—	—	味噌川ダム(水資源機構)
	種類	—	—	中央遮水壁型ロックフィル式
	高さ・長さ (m)	—	—	140.0-447.0
	堰堤容積 (m ³)	—	—	8,900,000
	可動堰種類・門数	—	—	テンターゲート・1門
貯水池・調整池	湛水面積 (km ²)	—	—	1.40
	総貯水容量 (m ³)	—	—	61,000,000
	有効貯水容量 (m ³)	—	—	55,000,000
	利用水深 (m)	—	—	70.00
取水施設		—	—	直線多段式ゲート表面取水
魚道設置の状況		なし	階段式(塩川取水口)	なし
導水路	総亘長 (m)	6,949.400	3,639.000	—
	種類	隧道	無圧隧道	—
水圧鉄管	材質	SM41・SM50	FRPM、SM400B	SM400
	内径 (m)	1.70~1.00	1.10~1.10、1.10~0.60	1.30~0.67
	厚さ (mm)	7.0~18.0	7.0~9.0、7.0~23.0	7.0~12.0
	長さ (m)	735.512	482.762、750.770	499.205
	条数	1	1	1
製造者名		佐藤工業㈱	㈱栗本鉄工所	川崎重工工業㈱
放水路亘長 (m)		87.200	24.500	24.667
水車	形式及び種類	立軸単輪4射ベルト	横軸単輪2射ベルト	横軸二輪単流渦巻両掛フランシス
	最大出力 (kW)・台数	10,310・1台	5,170・1台	2,505×2輪(両掛)・1台
	最大使用水量 (m ³ /s)	4.50	1.70	4.70
	回転速度 (min ⁻¹)・比速度 (m・kW)	400-18.87	600-19.71	900-117.4
	入口弁型式	ロータリー弁	蝶型弁	複葉弁
	调速機型式	電気式(油圧)	電気式(電動)	電気式(電動)
	製造者名	㈱荏原製作所	富士電機㈱	㈱日立製作所
発電機	形式及び種類	立軸回転界磁型三相交流同期	横軸回転界磁型三相交流同期	横軸回転界磁型三相交流同期
	定格出力 (kVA)・台数	10,600・1台	5,300・1台	5,050・1台
	定格電圧 (V)	6,600	6,600	6,600
	回転速度 (min ⁻¹)	400	600	900
	励磁装置	ブラシレス型	ブラシレス型	ブラシレス型
製造者名		㈱明電舎	富士電機㈱	㈱日立製作所
主変圧器	形式及び種類	屋外油入自冷	屋外油入自冷	屋内外鉄型
	定格出力 (kVA)・台数	10,600・1台	5,300・1台	5,050・1台
	電圧 (V)	6,600/77,000	6,600/22,000	6,600/77,000
	製造者名	㈱明電舎	四変テック㈱	㈱日立製作所
総事業費 (百万円)		14,200	7,000	3,560
帳簿原価 (百万円)	建築物	242	103	395
	機械装置	9,360	5,938	1,597
	備品	2,713	663	1,461
	非償却資産	8	1	3
	無固定資産	7	26	1
	計	143	42	4
共同事業負担金 (百万円)		—	—	436
負担率 (%)		—	—	0.3
単独・補助事業(建設補助・利子補給)等の別補助率 (%)		建設補助 15%	建設補助 30%	建設補助 15%
土木施設請負業者		鹿島・地埵・吉川JV他	飛島・吉川JV、佐藤・木下JV、三井・北野JV	間・飛島・不動JV

発 電 所 名		北信発電管理事務所		
		菅平発電所	裾花発電所	奥裾花発電所
所在地		上田市真田町長字山吹185	長野市大字小鍋字神白3479の8	長野市鬼無里字上土倉16942の2
水系・河川名		信濃川・神川	信濃川・裾花川	信濃川・裾花川
流域面積 (km ²)		37.0	250.0	65.0
発電所型式		ダム水路式	ダム式	ダム式
監視制御方式		随時監視制御	随時監視制御	随時監視制御
(制御所名及び開始時期)		(菅平ダム発電管理所 S43.12.1)	(北信制御所 S49.7.9)	(北信制御所 S54.2.1)
可能発電電力量 (MWh)		18,267	54,479	8,040
営業運転開始年月日		昭和43年12月1日	昭和44年5月15日 昭和44年6月6日	昭和54年2月1日
水利権許可年期限		平成38年3月31日	平成37年3月31日	平成48年3月31日
河川維持 流量	放流量 (m ³ /s)	—	—	—
	100km ² 当たり換算値 (m ³ /s)	—	—	—
認可出力 (kW)	最大(理論出力)	5,400 (6,429)	14,600 (17,352)	1,700 (2,104)
	常時()	220 (1,009)	1,600 (3,377)	180 (516)
最大使用流量・常時使用流量 (m ³ /s)		2.40・0.36	18.0・3.83	4.00・1.06
有効落差 (m)	最大	276.05	98.35	53.68
	常時	285.42	89.89	49.64
取水位・放水位 (m)		1,118.35・828.50	560.00・459.30	871.00・816.019
ダム	名称	菅平ダム (長野県農政部、上田市水道、 神川沿岸土地改良区、企業局)	裾花ダム (長野県建設部)	湯の瀬ダム (長野市水道)
	種類	コンクリート重力式	コンクリートアーチ式	コンクリート重力式
	高さ・長さ (m)	41.8・149.7	83.0・211.16	18.0・140.0
	堰堤容積 (m ³)	79,000	105,000	15,000
可動堰種類・門数		テンターゲート・2門	テンターゲート・3門、ローラーゲート・2門	テンターゲート・3門
貯水池・ 調整池	湛水面積 (km ²)	0.22	0.578	0.30
	総貯水容量 (m ³)	3,240,000	15,000,000	5,400,000
	有効貯水容量 (m ³)	3,110,000	10,000,000	3,300,000
	利用水深 (m)	20.90	22.50	7.20
取水施設		複式取水型ローラーゲート表面取水	—	半円形ローラーゲート表面取水
魚道設置の状況		なし	なし	なし
導水路	総延長 (m)	4,122.031	—	—
	種類	無圧隧道	—	—
水圧鉄管	材質	SS41・SM41	SS41・SM41A	SM41
	内径 (m)	1.00~0.52	2.90~1.90	1.50~1.00
	厚さ (mm)	6.0~16.0	10.0~15.0	8.0~10.0
	長さ (m)	438.896	124.54	72.647
	条数	1	1	1
製造者名		佐世保重工業(株)	三井造船(株)	石川島播磨重工業(株)
放水路延長 (m)		43.059	468.725	35.274
水車	形式及び種類	立軸単輪単流渦巻フランス	立軸単輪単流渦巻フランス	横軸単輪複流渦巻フランス
	最大出力 (kW)・台数	5,650・1台	15,700・1台	1,800・1台
	最大使用水量 (m ³ /s)	2.40	18.00	4.00
	回転速度 (min ⁻¹)・比速度 (m・kW)	900・60	450・181	900・185
	入口弁型式	ロータリー弁	複葉弁	蝶型弁
	调速機型式	電気式(油圧)	電気式(油圧)	電気式(油圧)
製造者名		㈱明電舎	東京芝浦電機(株)・芦野工業(株)	㈱明電舎
発電機	形式及び種類	立軸回転界磁保護管通風型三相交流同期	立軸回転界磁型三相交流同期	横軸回転界磁型三相交流同期
	定格出力 (kVA)・台数	6,000・1台	16,200・1台	1,800・1台
	定格電圧 (V)	6,600	11,000	3,300
	回転速度 (min ⁻¹)	900	450	900
	励磁装置	静止型	静止型	ブラシレス型
製造者名		㈱明電舎	東京芝浦電機(株)	㈱明電舎
主変圧器	形式及び種類	屋外油入自冷室素封入密封式	屋外油入自冷室素密封型	屋外油入自冷室素封入
	定格出力 (kVA)・台数	6,000・1台	16,200×1台	1,800・1台
	電圧 (V)	6,300/77,000	10,500/33,000	3,150/33,000
	製造者名	㈱明電舎	㈱高岳製作所	㈱明電舎
総事業費 (百万円)		881	1,755	889
帳簿原価 (百万円)	建築物	37	207	34
	機械装置	563	1,036	223
	備品	434	1,015	521
	非償却資産	1	4	1
	無固定資産	9	37	1
	計	1,148	2,300	781
共同事業負担金 (百万円)		98	269	83
負担率 (%)		10.7	8.7	1.1
単独・補助事業(建設補助・利子補給)等の別補助率 (%)		単独	単独	単独
土木施設請負業者		株木建設(株)	㈱間組	ブルトージー工業(株)
				㈱間組

電力料金単価の推移

年度	契約平均単価 (うち従量分) 円/kWh													
	美和 12,200kW	春近 23,600kW	西天竜 3,600kW	四徳 1,800kW	菅平 5,400kW	小渋第1 3,000kW	小渋第2 6,500kW	裾花 14,600kW	奥裾花 1,700kW	与田切 6,300kW	大鹿 10,000kW	奥木曾 4,800kW	大鹿第2 5,000kW	小渋第3 550kW
昭和33年度														
昭和34年度														
昭和35年度														
昭和36年度														
昭和37年度														
昭和38年度														
昭和39年度														
昭和40年度														
昭和41年度														
昭和42年度														
昭和43年度														
昭和44年度														
昭和45年度														
昭和46年度														
昭和47年度														
昭和48年度														
昭和49年度														
昭和50年度														
昭和51年度														
昭和52年度														
昭和53年度														
昭和54年度														
昭和55年度														
昭和56年度														
昭和57年度														
昭和58年度														
昭和59年度														
昭和60年度														
昭和61年度														
昭和62年度														
昭和63年度														
平成元年度														
平成2年度														
平成3年度														
平成4年度														
平成5年度														
平成6年度														
平成7年度														
平成8年度														
平成9年度														
平成10年度														
平成11年度														
平成12年度														
平成13年度														
平成14年度														
平成15年度														
平成16年度														
平成17年度														
平成18年度														
平成19年度														
平成20年度														
平成21年度														
平成22年度														
平均	6.64	6.64	6.83	7.26	7.75	7.75	7.75	7.65	8.95	9.76	10.34	10.55	8.93	7.48

経営実績の推移

年度	供給目標電力量 [料金契約] (kWh)	供給電力量 [実績] (kWh)	達成率	電力料収入 (円)	当年度純損益 (円)	備考
昭和33年度	136,675,000	134,433,420	98.4%	423,560,925	45,954,179	美和(2月)、春近(7月)発電所運転開始
昭和34年度	180,297,000	173,577,862	96.3%	543,378,761	45,587,152	
昭和35年度	180,297,000	129,628,366	71.9%	542,625,933	41,051,074	
昭和36年度	189,329,000	152,103,206	80.3%	566,727,458	46,190,036	西天竜発電所運転開始(12月)
昭和37年度	199,997,000	115,703,861	57.9%	588,892,943	47,519,239	
昭和38年度	200,670,000	139,278,180	69.4%	599,988,291	47,438,656	四徳発電所運転開始(2月)
昭和39年度	207,905,000	147,774,124	71.1%	625,621,610	48,462,034	
昭和40年度	207,905,000	186,341,010	89.6%	626,344,475	47,548,362	
昭和41年度	207,905,000	189,565,120	91.2%	628,569,102	48,793,815	
昭和42年度	207,905,000	164,048,730	78.9%	627,020,694	49,279,953	
昭和43年度	191,494,000	183,797,640	96.0%	656,289,421	39,441,002	菅平(12月)、小渋第1、第2(3月)運転開始
昭和44年度	269,301,000	244,885,520	90.9%	1,015,833,530	37,130,951	裾花発電所運転開始(5月)
昭和45年度	282,639,000	217,124,290	76.8%	1,042,284,623	30,811,203	
昭和46年度	282,639,000	319,063,281	112.9%	1,061,048,493	44,368,648	
昭和47年度	282,639,000	302,471,820	107.0%	1,055,078,976	46,922,065	
昭和48年度	282,639,000	228,660,440	80.9%	1,038,247,080	26,501,888	
昭和49年度	282,728,000	293,007,970	103.6%	1,053,378,916	2,949,521	
昭和50年度	282,728,000	318,794,680	112.8%	1,219,227,665	143,725,727	
昭和51年度	282,578,000	320,271,740	113.3%	1,228,479,597	116,361,779	
昭和52年度	282,578,000	252,633,600	89.4%	1,222,971,635	114,892,439	
昭和53年度	276,515,000	242,381,000	87.7%	1,366,640,000	248,594,616	奥裾花発電所運転開始(2月)
昭和54年度	284,278,000	276,994,100	97.4%	1,428,060,000	226,231,969	
昭和55年度	284,278,000	339,895,900	119.6%	1,428,060,000	176,202,112	
昭和56年度	282,950,000	334,688,100	118.3%	1,746,388,977	361,970,038	
昭和57年度	282,950,000	308,284,600	109.0%	1,740,084,954	345,449,686	
昭和58年度	285,030,000	316,224,200	110.9%	1,902,463,414	452,908,883	
昭和59年度	285,030,000	217,589,700	76.3%	1,877,406,082	460,742,995	
昭和60年度	285,970,000	292,938,100	102.4%	2,003,045,377	507,607,539	
昭和61年度	316,329,000	276,838,800	87.5%	2,540,463,779	494,082,005	与田切発電所運転開始(4月)
昭和62年度	314,911,000	205,026,900	65.1%	2,483,495,587	445,761,880	
昭和63年度	314,911,000	358,665,900	113.9%	2,658,371,784	518,661,191	
平成元年度	311,249,000	385,249,200	123.8%	2,773,039,734	452,702,625	
平成2年度	354,040,000	323,924,700	91.5%	3,552,244,537	497,677,312	大鹿発電所運転開始(5月)
平成3年度	362,057,000	431,387,900	119.1%	4,065,494,505	904,953,776	
平成4年度	362,057,000	335,610,000	92.7%	4,003,990,768	548,217,301	
平成5年度	362,761,000	416,694,000	114.9%	4,165,304,931	565,628,394	
平成6年度	369,933,000	206,275,000	55.8%	4,063,101,499	663,715,799	奥木曾発電所運転開始(6月)
平成7年度	374,974,000	307,560,000	82.0%	4,282,879,056	522,638,682	
平成8年度	380,057,000	324,437,000	85.4%	4,384,181,917	607,871,592	
平成9年度	374,919,000	355,810,000	94.9%	4,346,644,302	435,042,910	
平成10年度	374,919,000	398,743,000	106.4%	4,425,675,488	655,324,874	
平成11年度	396,224,000	345,225,198	87.1%	4,235,591,121	377,877,067	大鹿第2発電所運転開始(4月)
平成12年度	381,558,000	378,897,706	99.3%	4,291,546,583	533,750,494	小渋第3発電所運転開始(4月)
平成13年度	385,114,000	347,727,630	90.3%	4,053,138,578	△ 65,667,288	戸草発電所建設調査費の償却を実施
平成14年度	398,737,000	287,446,743	72.1%	3,890,631,001	230,448,451	
平成15年度	398,608,000	439,806,935	110.3%	3,838,720,713	△ 186,441,023	籠川発電所建設調査費の償却を実施
平成16年度	398,608,000	409,715,716	102.8%	3,822,852,111	△ 273,211,838	退職給与引当不足額を特別損失に計上
平成17年度	401,842,000	298,094,953	74.2%	3,429,767,893	131,476,135	
平成18年度	401,842,000	368,615,015	91.7%	3,515,410,784	349,139,718	
平成19年度	394,034,000	360,688,277	91.5%	3,160,167,771	54,762,430	
平成20年度	394,034,000	354,054,055	89.9%	3,140,063,823	212,388,210	
平成21年度	385,543,000	410,740,370	106.5%	3,077,699,574	229,509,110	
平成22年度	387,724,000	431,757,188	111.4%	2,951,860,358	309,437,282	
	15,431,567,000	14,458,655,188	93.7%	114,980,497,197	12,527,438,258	

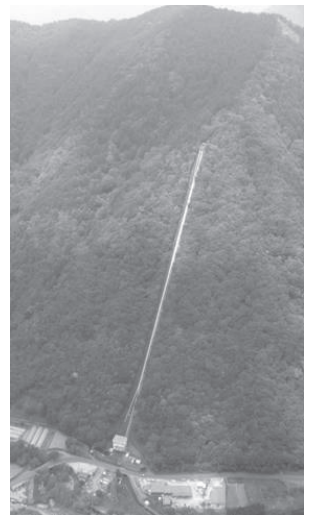
※平成元年度以降の電力料収入は消費税(及び地方消費税)込みの金額。

事業年表（電気事業）

昭和24年	12月	長野県河川総合開発委員会・総合開発局設置（昭和26年県総合開発審議会と改称）
昭和27年	7月	三峰川総合開発事務所を設置
昭和28年	12月	美和発電所建設工事着工
昭和30年	4月	高遠ダム本体工事着工
昭和32年	12月	美和ダム完成。湛水開始
昭和33年	2月 11日	美和発電所運転開始
	4月	電気部発足 高遠ダム竣工
	7月 14日	春近発電所運転開始
昭和35年	9月	西天竜発電所建設工事着工
昭和36年	11月	四徳発電所建設工事着工
	12月 1日	西天竜発電所運転開始
昭和39年	2月 7日	四徳発電所運転開始
昭和40年	12月	裾花ダム本体工事着工
昭和41年	3月	裾花発電所建設工事着工
	5月	小渋第1、小渋第2発電所建設工事着工
	6月	菅平ダム本体工事着工
昭和42年	9月	湯の瀬ダム本体工事着手
昭和43年	9月	美和発電所、西天竜発電所を春近発電所から集中制御開始
	10月	菅平ダム湛水開始
	12月	湯の瀬ダム湛水開始
	12月 1日	菅平発電所運転開始
昭和44年	2月	裾花ダム湛水開始
	3月 1日	小渋第1発電所運転開始
	3月 1日	小渋第2発電所運転開始
	4月	四徳発電所、美和発電所、西天竜発電所無人化
	5月 15日	裾花発電所運転開始
昭和45年	3月	裾花ダム完成
昭和47年	4月	奥裾花発電所建設工事着工
昭和49年	3月	奥裾花ダム本体工事着工
昭和52年	4月	南信発電管理事務所管内6発電所、総合自動化運転開始 （美和、春近、西天竜、四徳、小渋第1、小渋第2）
昭和54年	2月 1日	奥裾花発電所運転開始
昭和55年	3月	奥裾花ダム完成
昭和58年	12月	与田切発電所建設工事着工
昭和61年	4月 1日	与田切発電所運転開始
昭和62年	7月	大鹿発電所建設工事着工
平成2年	3月	奥木曾発電所建設工事着工
	5月 1日	大鹿発電所運転開始
平成6年	6月 1日	奥木曾発電所運転開始
平成7年	3月	大鹿第2発電所建設工事着工
平成11年	4月 1日	大鹿第2発電所運転開始
平成12年	4月 1日	小渋第3発電所運転開始
平成15年	8月 28日	長野県企業局事業の民営化に向けての提言（企業局事業の民営化検討委員会）
	12月 24日	長野県企業局事業の民営化計画の策定（発電所、附帯設備の一括民間譲渡の方針）
平成18年	12月 27日	高遠ダム河川維持流量放流開始（0.96m ³ /s）
平成19年	6月 21日	中部電力（株）へ譲渡協議申し入れ
平成21年	3月 23日	中部電力（株）と「長野県企業局水力発電事業の譲渡・譲受に関する確認書」締結



美和ダム（国土交通省）



菅平発電所



奥裾花ダム



高遠ダム